

時	令和8年1月27日(火) 13:45～15:00
学校名/機関名	宇都宮市立若松原中学校
対 象	1年生(177名)、教職員(10名)
講 師	谷中田 悟 氏(税理士法人アミック&パートナーズ 代表社員)
内 容	<p>「働く人に学ぶ」をテーマとし、生徒たちが将来の人生に対して夢や希望を育む機会として職業人講話を実施しました。</p> <p>はじめに、税金を通じて社会インフラを支える税理士の役割について説明しました。そして、人生という会社の経営者は自分自身であり、これからの歩みは自分の手で創り出せることを力強く語りかけました。特に、中学時代は自分の「志」を立てる重要な時期であるとし、大切な心得として「ABCDの法則」を紹介しました。「当たり前のことを、バカにせず、ちゃんとやるのが、できる人として信頼される道となる」という教えです。</p> <p>能力に大きな差はなくとも、日々の努力や習慣の積み重ねが未来に大きな差を生むことも強調しました。「人間として花が開くには10年かかる」という言葉を添え、中学時代の3年間全力で文武に取り組むことが、将来の揺るぎない土台になると伝えました。</p> <p>感謝の心を持つことで運が開けることを大谷翔平選手の事例を交えて説明し、「自分という世界に一つだけの花」を咲かせるために今を大切に生きてほしいと語りかけました。イチロー選手の作文を引用しながら、具体的な夢を持つ素晴らしさを伝えると同時に、人との出会いを大切にすることが人生を豊かにする秘訣であると結びました。</p> <p>「税理士になって良かったか」という生徒からの問いには、天職に出会えたと笑顔で答え、将来への不安を希望に変えて自らの人生を前向きに切り拓いてほしいと講話を締めくくりました。</p>

